

第2回 白梅福祉 NPO セミナー

地域文化の創造 ― 大学生とNPOとの出会いの場 IN 小平

2005年7月17日

第2回白梅NPOセミナー「地域文化の創造 ― 大学生とNPOとの出会いの場 IN 小平」を05年7月17日、本学J棟で開催しました。

1998年にNPO法が施行されてから、子育てや障害者分野などで地域でさまざまな地域活動を広げてきたNPOは少子高齢社会が加速する中で、地域に密着したきめ細かいサービスを担い、地域を支えていく上で、ますます重要な位置を占めてきています。

その活動がさらに広がっていくためには、その活動の意義を認識した人材を育てていくことも求められています。小平市には6つの大学があります。教育研究機関としてのこれらの大学が地域に役立つ知恵と力をできるだけ出し合い、地域やNPOに貢献する。それを担う人材養成にもつなげていく狙いから、小平市を中心にさまざまな活動に取り組むNPOや小中学校、大学での実践を紹介、その課題、可能性を考えるとともに、学生とNPOとが知り合い、出会う場としたい。

白梅学園の呼びかけに武蔵野美術大学、嘉悦大学が協力、小平市のNPOが組織する小平市民活動ネットワーク、小平市社会福祉協議会ボランティアセンターも共催者として参加、当日は98人の大学生、教員、NPO活動家、市民らが参加しました。

当日は第1部（11:00～12:30）シンポジウム「地域の創造にどう関わるか」をテーマに武蔵野美術大学「エコマップ活動」、白梅学園大学短期大学の「子育て広場」の活動事例報告をした後、コメンテーターとして斎藤啓子・武蔵野美術大学

教授、内田和夫・嘉悦大学教授、金田利子本学教授らが出席、学生とNPOとの協働を拡げていくための課題を討論した。

午後の第2部（13:30～15:30）は「学生とNPOの出会いの場」として、NPO側がIT・情報コーナー、子どもコーナー、環境コーナー、まちづくりコーナーに分かれて、展示やプレゼンテーションをし、それを受けて、学生たちが各コーナーを取材、その結果を発表するワークショップを催した。

小平市内の子どもや高齢者を巻き込んで「小平よさこい踊り」の活動を展開している東京学芸大学の学生グループも実演、参加者も加わり会場を盛り上げました。

第一回のNPOセミナーは多摩地区のNPOを集め、NPO活動の課題を出し合い、議論しましたが、第二回は大学生も一方の当事者として加わり、普段なじみのないNPOの活動を知り、その役割を考え、自らも地域活動に参加していくきっかけを作るのが大きな狙いでした。

子ども学科の学生たちの中には、このイベントをきっかけに障害者や子育てのNPO活動に加わる学生たちも出てきたのは収穫でしたが、1日だけのイベントに終わった反省もあります。白梅の大学、短大の学生、教員の参加も一部にとどまりました。他大学の参加の輪もさらに広げたい。

何より継続的な学生とNPOとのネットワークに広げたい。それが第三回以降の大きな課題となりました。

（山路 憲夫）